

がん治療による外見の変化にお悩みの方へ

三郷市



アピアランスケア用品 購入費用の一部を助成します！

三郷市では、がんの治療や手術に伴う外見の変化による精神的・経済的な負担を軽減し、社会復帰を支援するため、アピアランスケア用品の購入費用の一部を助成します。

対象となるかた(次のすべてに該当するかた)

1. 申請日時点で市内に住所を有するかた
2. がん治療による外見の変化に伴いアピアランスケア用品を購入したかた
3. 他の制度や自治体からの同種の補助や給付を受けていないかた

対象となる用具・助成回数・助成額

※令和7年4月1日以降に購入したもの

区分	ウィッグ等	胸部補整具等
用具	・ウィッグ ・装着用ネット ・毛付き帽子 ・医療用帽子 ・ウィッグを安定させる帽子 ・インナーキャップ	・補整下着 ・補整パッド ・専用入浴着 ・ノンワイヤーソフトブラ ・人工乳房 ・人工ニップル ・顔面の補綴 ・その他身体の欠損を補うことを目的として体表に取り付ける人工物
助成回数	1回	1回
助成額	購入額(消費税含む)または1万円のいずれか少ない額	

補助対象とならないもの

治療として保険適用になるもの、他の制度等で給付の対象となるもの、付属品やケア用品(シャンプー、ブラシなど)、カット代、セット代、購入のために要した交通費、送料、振込手数料、クーポン・ポイント支払いなどによる割引分など

申請期限

購入日(令和7年4月1日以降)から1年以内
※複数個まとめて申請する場合は、一番古い領収書の日付から1年以内に申請してください。

お問い合わせ・申請先

〒341-8501
三郷市花和田648-1 (健康福祉会館2階)
三郷市健康推進課 地域保健係
TEL 048-930-7772(直通)

HP



	提出書類	確認事項
1	三郷市がん患者アピアランスケア用品購入費助成金交付申請書兼交付請求書（様式第1号）	○所定の様式に必要事項を記載してください。 ※1 ○原則、申請者は対象者本人としてください。 ○対象者が未成年の場合は、親権者が申請してください。 ○振込先口座は、申請者ご本人の名義の口座に限ります。 ○申請（請求）額は修正不可です。その他の箇所で書き間違えた場合は二重線で訂正してください。 ○消せるボールペン、鉛筆、修正液、修正テープは使用しないでください。
2	がん治療の内容が確認できる書類の写し	○がん治療に伴い、頭部の脱毛、外科的治療等による部位の変形や欠損またはそれらが見込まれることを証明する書類 例：診療明細書、診断書、治療方針計画書、同意書、お薬手帳（抗がん剤名記載ページ）等 ※2
3	領収書の <u>原本</u>	○宛名、購入日、購入金額、購入品目、金額の内訳及び領収書発行者の記載があるもの ○補助対象にならないものを含めた金額の場合は、補助対象用具の金額が分かる内訳書を添付してください。
4	振込み先が確認できるもの	○通帳等のコピー

※1 所定の様式は、市ホームページからダウンロードすることができます。

※2 審査に必要と判断する場合は他の書類を求めることがあります。

よくある質問	回答
リンパ浮腫治療のための弾性着衣は対象になりますか。	治療として保険適用になるものは対象外となります。 人工乳房についても、乳房再建手術によるインプラントは保険適用のため対象外となります。その他、他の制度で同等の補助又は給付の対象となるものは対象外となります。
過去に補整下着等の助成を受けましたが、新たにウィッグ等の助成を受けることはできますか。	「ウィッグ等」と「胸部補整具等」それぞれ1回ずつ対象となります。
手術を受けたのは数年前ですが、助成対象となりますか。	手術した日は問わず、申請日からさかのぼって1年以内に支払った費用が対象となります。ただし、申請にはがん治療の内容が確認できる書類の写しが必要となります。
胸部補整用の下着とパッドを複数購入しました。どのように申請したらよいですか。	購入した物品のすべての領収書が購入から1年以内のものであれば合算できます。合算する領収書はすべてご提出ください。合算した金額が1万円を超えていても、助成額は1万円となります。
インターネットで購入して領収書がない場合は、どうすればよいですか。	まずは購入店に領収書の発行を依頼してください。難しい場合、領収書に代わるものとして、支払いした事がわかるものと、上記「提出書類3 領収書の原本 確認事項」の内容が確認できる書類を提出してください。（例：クレジットカードの利用明細と納品明細等）



アピアランス(外見)の変化が起きた際に行うケアをアピアランスケア(外見の変化に対するケア)と言います。単なる美容目的で行うものではなく、がん治療によって生じた外見の変化を補い、患者さんの苦痛を軽減するためのケアです。アピアランスケアを行うことは、患者さんが家族を含めた人間関係のなかで、その人らしい生活を送る手助けとなります。